

1 研究主題

心の変容をみとる道徳科授業の創造
～道徳科授業&特別支援教育の基礎づくり～

2 目指す子どもの姿

- ・自分の思いや考えをもち、主体的に表現できる子
- ・話し合い活動等を通して、自分の考えを確かなものとし、実践につなげようとする子
- ・(特別支援から)

3 研究仮説

仮説1

題材を通して、道徳的価値について「多面的・多角的に考えられるような場面」を設定することで、多様な価値観が引き出され、自己の考えを深めることができるであろう。

仮説2

自分の「考えを整理できるような学習活動の場」を設定することで、主体的に表現することができるようになるであろう。

仮説3 (特別支援から)

4 視点として・・・

「多面的・多角的に考えられるような場面」

- 「低」一つの考えではなく、いろいろな考えが引き出されるような発問
「高」議論が生まれるような授業の流れ

「考えを整理できるような場」

- どんな方法が効果的？
- ・書く活動（ノート，ワークシート・・・）
 - ・話す活動（発表，話し合い・・・）
 - ・ロールプレイ

○改訂の要点

目標 「道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め」

→「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多角的・多面的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習」

「道徳的実践力を育成する」

→「道徳的な判断力，心情，実践意欲と態度を育てる」

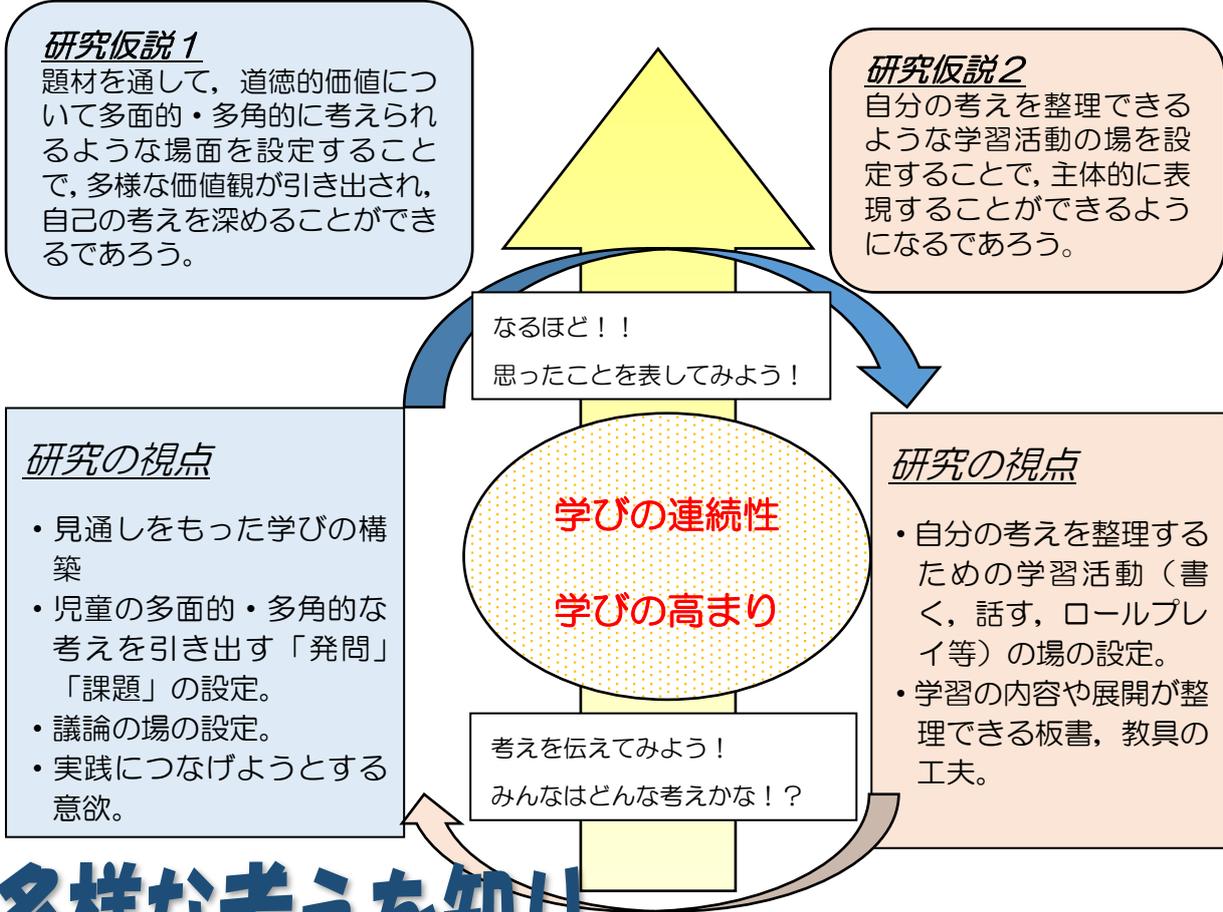
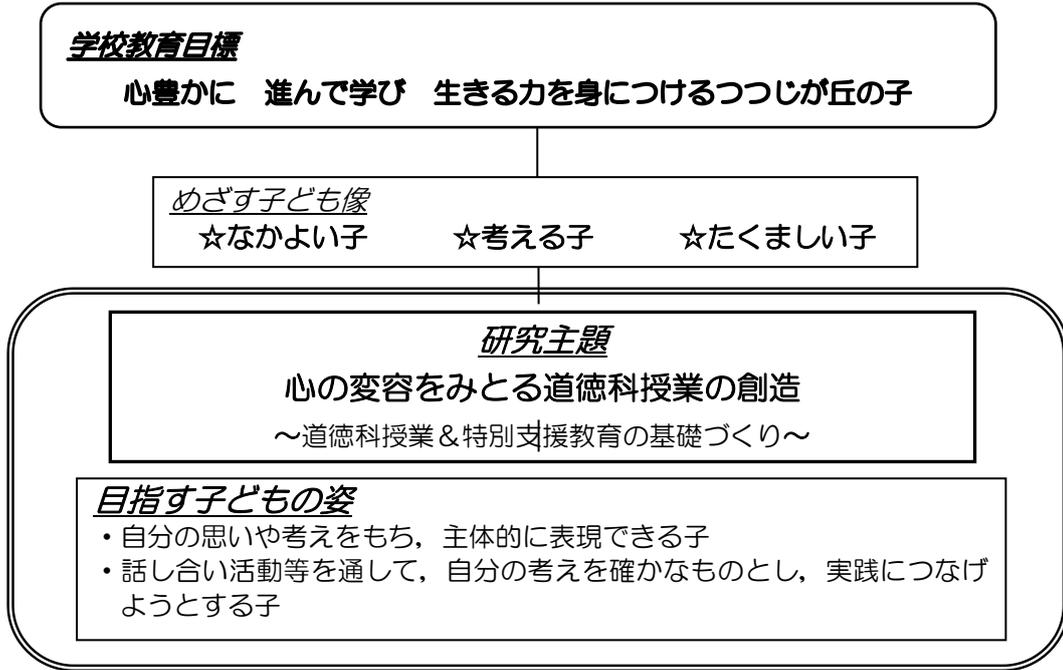
○「読み物道徳」→「考える道徳」

答えが一つではない課題に子ども達が道徳的に向き合い、考え、議論する道徳

- ・自分との関わりで道徳的価値を考える
- ・多面的・多角的に考える授業

どのようなわけで大切なの？ どうすることが考えられる？

研究の全体構造図



多様な考えを知り
自己決定する力

思いを表現する力